

## 沿革の概要

明治 9年 12月 19日	麻布宮村町7番地に第2大区第2中学區第27番「公立南山小學校」と称し開校
明治 27年 12月 28日	麻布宮村町69番地に校舎移転
昭和 2年 10月 22日	麻布宮村町67番地に鉄筋校舎落成移転
昭和 19年 8月 18日	戦時學童疎開を行い、翌年10月復歸
昭和 21年 1月 20日	給食開始
昭和 22年 4月 1日	「東京都港区立南山小學校」と校名変更 新制中学校発足により高等科廃止 新校歌を制定(小林操 作詞 岩波太郎 作曲)
昭和 53年 12月 9日	新校舎落成式典挙行
昭和 61年 6月 10日	プール全面改築完成
昭和 61年 11月 15日	体育館・校庭等全面改築工事完了
平成 3年 8月 31日	校舎外壁塗装工事完了
平成 8年 11月 30日	開校120周年記念式典挙行
平成 15年 11月 21日	港区教育委員会研究奨励校発表会 ドリルタイム・生活科・総合的な学習の時間 -学力を高める教育活動の工夫-
平成 18年 3月 24日	屋上緑化工事完了
平成 18年 10月 28日	開校130周年記念式典挙行
平成 20年 1月 25日	港区教育委員会研究奨励校発表会 一人ひとりの考える力を伸ばす指導の工夫 -学び合える子を目指して-
平成 24年 11月 2日	港区教育委員会研究奨励校研究発表会 相手を大切に、思いや考えを認め、高め合う児童の育成 -「交流」の学習過程における説明的文章の読みを通して-
平成 28年 11月 19日	開校140周年記念式典挙行
平成 30年 2月 9日	港区教育委員会研究奨励校発表会 「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成 ~育ちと学びをつなぐ幼小連携カリキュラムの工夫~」
令和 3年 3月 24日	第141回卒業式挙行 卒業生数(累計) 14,986名

## 年間行事予定

月	行 事	
4	始業式・入学式 健康診断(〜6月)、区学力調査	保護者会 地域訪問
5	租税教室(6年) 全国学力調査(6年)	保幼少合同研修会
6	投げ方教室、体力調査 水泳教室(〜9月)	通学路点検
7	有栖川公園見学(1年) 夏季学園、終業式、夏季休業	個人面談
8	夏季休業	
9	始業式、区水泳記録会 稲刈り体験(5年) 麻布十番商店街インタビュー(2年)	保護者会
10	区連合運動会(6年)、読書週間 開校記念日、体育発表会	
11	創立145周年記念集会、歯みがき週間 盲導犬キャラバン(4年)	学校公開、学校説明会
12	移動教室(6年) 漢字・計算パーフェクトテスト 終業式、冬季休業	個人面談
1	冬季休業、始業式 席書会、郷土歴史館見学(3年)	道徳授業地区公開講座
2	漢字検定、算数検定 学習発表会	
3	6年生を送る会 3.11を忘れない集会 卒業式、修了式、春季休業	保護者会
毎月	生活アンケート、安全指導、避難訓練	

## 生活時程

	月	火	水	木	金	土		
8:00	開門(8:00)						8:00	
8:15~8:20	登校時間(8:15~8:20)						8:15~8:20	
8:25~8:40	朝会	安全 音楽 集会 学級	漢字	計算	読書 (百人一首)	①	8:30~9:15	
8:45~9:30	①	①	①	①	①	②	9:20~10:05	
9:35~10:20	②	②	②	②	②	中休み	10:05~10:20	
10:20~10:40	中休み 20分						③	10:20~11:05
10:40~11:25	③	③	③	③	③	完全下校	11:20	
11:30~12:15	④	④	④	④	④			
12:15~13:00	給食 45分							
13:00~13:20	昼休み 20分							
13:20~13:35	掃除 15分		13:20 ⑤	掃除 15分				
13:40~14:25	⑤	⑤	14:05 ⑤	⑤	⑤			
14:30~15:15 委員会	⑥	⑥	14:20 ⑥	⑥	⑥			
14:40~15:25	チャレンジタイム		14:25 完全下校	チャレンジタイム				
~15:45	完全下校 15:45							

## 教職員構成

職種	校長	副校長	主幹・主任・教諭	養護教諭	事務	用務主事	栄養士	部費・区費講師	特別支援教室 専門員	English Support Teacher	Native Teacher	サイエンス・アシスタント	学校経営 支援員	スクール・サポート・スタッフ	スクール・カウンセラー	図書館司書・支援員	学習 支援員	事務補助	校医・薬剤師	計
人数	1	1	18	1	1	4	1	4	1	6	2	1	1	1	1	3	1	1	5	55名

## 児童数・学級数

(令和3年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	2	2	2	2	2	1	11
児童数	60	62	45	41	43	32	283

## 南山小學校アクセスマップ



- ▶ 日比谷線・大江戸線「六本木駅」徒歩7分
- ▶ 南北線・大江戸線「麻布十番駅」徒歩7分
- ▶ 都バス「六本木6丁目」徒歩6分
- ▶ 7-minute walk from "Roppongi Station" Hibiya Line and Oedo Line
- ▶ 7-minute walk from "Azabujuban Station" Namboku Line and Oedo Line
- ▶ 6-minute walk from "Roppongi, 6-Chome" the Capital Bus



# 令和3年度 学校要覧



# 港区立 南山小學校

NANZAN ELEMENTARY SCHOOL

〒106-0046 東京都港区元麻布3-8-15

TEL: 03 (3403) 5773 FAX: 03 (3408) 4532

http://nanzan-es.minato-tky.ed.jp

## 校歌

一 麻布の丘に そびえてたてる  
校舎をめぐる 木々の若芽の  
しじにのびゆく われらが姿  
おおすくすくと 伸びゆく姿  
楽しく学ぶ われらはここに

二 南の山の 輝く歴史  
星の記章の 空すみわたる  
はてなき空は われらが心  
おおひろびると はてなき心  
みつみて励む われらはここに

作詞 小林 操  
作曲 岩波 太郎

# どの子ども伸びる 学びの南山小

～いかそう みがこう きたえよう 心と体と知識技能～

○は令和3年度重点項目

## ◎目指す学校像

- ・子ども一人一人が学力・体力を身に付ける学校
- ・子ども一人一人に居場所がある学校
- ・組織の力で課題解決を図る学校
- ・保護者と地域から信頼される学校
- 教職員が互いに学び合い、高め合う学校

## ◎目指す子供像

- 自ら学び、考え、判断できる子
- ・友達との関わりながら学ぶ子
- ・自他の生命を尊重し、思いやりのある子
- ・進んで運動し、親しむことができる子
- ・学校や地域を愛し、他者と豊かにかかわる子

## ◎目指す教師像

- ・公教育を担う教師の誇りと自覚、研ぎ澄まされた人権感覚を有する教師
- ・愛情と熱意にあふれ、常に児童理解に努める教師
- 高い専門性と豊かな人間性を備えた学び続ける教師

## 徳

### 友だちとなかよく協力

#### ○豊かな人間関係の醸成



<縦割り班活動>



<幼稚園との交流>



<ふれあい月間の取組>



<手話体験>

## 知

### よく考え最後までやりぬく

#### ○思考力・判断力・表現力の向上を重視した授業



<アサガオの観察>



<まちたんけん>

#### ○分かる喜びとできる楽しさを実感する学び



<タブレットの利活用>



<校内研究会>

## 体

### じょうぶで明るく

#### ○運動に親しみ 運動を楽しむ活動と授業



<体育発表会>



<投げ方教室>

#### ○危険の予測と危機回避能力の育成



<交通安全教室>



<地震車体験>

## 国際理解教育と国際学級



<国際科の授業>



<ESTとの授業>

組織の力で課題 解決を図る学校  
働き方 改革3S  
(Slim・Sharp・Simple)と  
カリキュラム・マネジメントの推進

## オリンピック・パラリンピック教育



<キッズアスレティックス>



<伝統文化体験>

# Nanzan style



「考え」「広げ」「深める」授業づくりのために  
5つの style を実践します。

港区立南山小学校

## style1 : 学習の進め方

1 単位時間の学習スタイルで、思考力・判断力を育む。

### つかむ (課題把握)

学習のめあてを理解し、  
学習の見通しを立てる

今日のめあてが  
はっきりしたぞ。

### 考える (自力解決)

資料を見たり調べたり  
して、自分の考えをもつ

こうかなあ。

ここはわからないな。

### 広げる (検討)

クラスみんなと  
学び合う

そんな考えもあるのか。

その考えからいくと  
これも考えられる。

### まとめる (評価)

分かったことをまとめる  
考えの変容に気付く

もう一度  
考えて書き直してみよう

答えが分かったぞ。

学習の過程をとおして、自分の考えを深めていく

## style2 : 板書

4 5 分間の思考の過程が分かる板書計画を立て、  
子どもの「考える」「広げる」をうながす。



### つかむ

**めあて**  
本時の学習を端的に表すめあてを設定し、板書する。  
キーワードには波線を引くなどして、めあてを明確にする。  
**問題**  
学習問題を提示する。

### 考える

**やり方**  
自力解決を図るために、資料の調べ方や一人で考えるための手だてを提示する。

### 広げる

**みんなで話し合う**  
子どもたちの考えを提示する際には、ミニホワイトボードや ICT 機器によるノートの提示を活用する。

### まとめる

**わかったこと** **まとめ**  
本時の学習に対するまとめを板書する。  
**たしかめ問題**  
類題を出し、めあてへの理解を確認する。  
**学習の感想**  
本時についての具体的な振り返りを板書する。  
振り返りの観点を示す。  
**観点の例**  
・話し合いで考えたこと ・学習に生かしたいこと  
・友達よかったところ ・自分の考えがよかったところ

## style3 : 相互交流

検討場面では3つの相互交流を意識的に使い分ける。

### Style A ペアでの話し合い



考えたことをさっと  
ペアで話し合うことで  
短時間で考えを交流  
することができる。

### Style B グループでの話し合い



様々な考えを伝え合  
うことで自分の考え  
を広げたり深めたり  
することができる。

### Style C 全体での話し合い

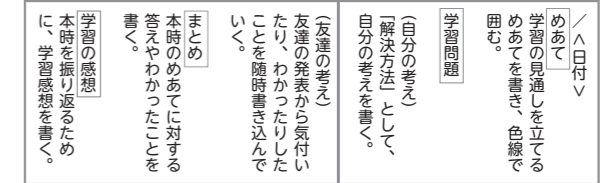


個人やグループの考  
えを全体に広げること  
で学びを共有するこ  
とができる。

## style4 : ノート

見開き 2 ページを基本とし、「問題解決の過程や  
学習の振り返り」がわかるようにする。

枠囲みや筆算など線を引くときは定規を使う。  
色分けは赤、青鉛筆を使う。



ノートの例

つかむ ← 考える ← 広げる ← まとめる



## style5 : 学習のルール

・学習ルールの共通化を図り、学習規律の確立と学習意欲の向上を図る。

### 学びのスタンダード

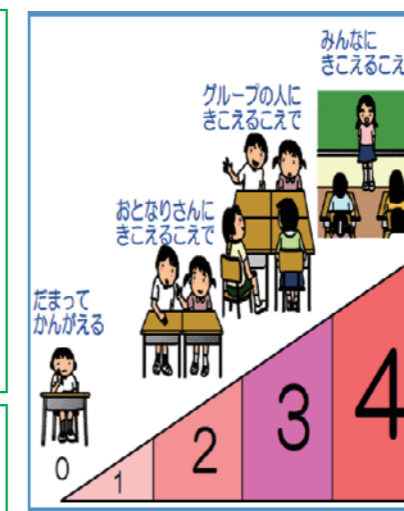
#### 学校で

- 授業の始めと終わりにあいさつをします
- よい姿勢で座ります
- 「声のモノサシ」に合わせた大きさで話をします
- 最後まで静かに話を聴きます
- 字をていねいに書きます
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします

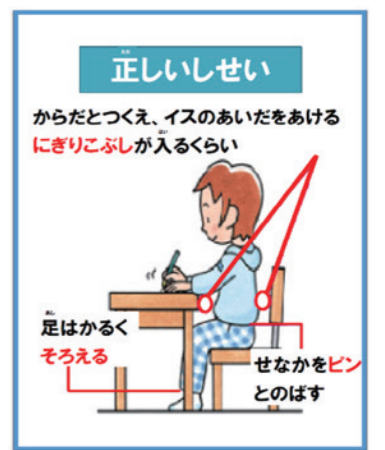
#### 家庭で

- 必要な学習用具は前日までに用意します
- 宿題や家庭学習に取り組みます

### 声のモノサシ



### 正しいしせい



主体的・意欲的に学ぶための学びのスタンダード

日々の授業、教育活動を通して定着させていくための掲示物

・確実に身に付けさせたい学習習慣の根幹となるもの。

# ESC (English Support Course) について

## 1 ESC (English Support Course) とは……

外国人児童に多様な教育の機会を提供するため、通常の学級に外国人児童を受け入れるESC (English Support Course) を設置し、ESCの児童に対して英語で授業等を行う学級のことで

## 2 対象は……

港区在住の外国人児童（外国籍のみ）で、英語能力を有する児童

- 日本国籍を有する帰国児童や二重国籍児童は、入級できません。
- 入級にあたり英語能力を判定します。英語能力が十分でない場合、入級できないことがあります。

## 3 国際学級の特徴は……

- ESCを設置した学級には、日本人児童と外国人児童がともに在籍します。
- ESCには、国際学級講師（EST=English Support Teacher）を配置します。ESTは、ESC児童に対して英語で授業等を行います。
- 日本人児童・外国人児童の双方が、多様な文化や価値観に触れることができます。受入児童数は、1学年に10人以内です。

## 4 ESCでの授業の実施方法とは……

- 2学級以上になる場合、1学級にのみESCを設置します。（他の学級は日本人児童のみが在籍します）
- ESC児童に対して英語で授業等を行うESTを配置します。（ESTは学年に1人の配置となっています）

【基本的な学校生活（朝の会、帰りの会、給食など）、社会・理科・生活科（1・2年）・音楽・図工・体育・家庭科（5・6年）の授業】

⇒ 担任とESTの2人の指導で、ESC児童と日本人児童が同じ教室で学習します。

【国語・算数の授業】

⇒ ESC児童は、日本人児童とは別室でESTにより英語で授業を受けます。

## 5 国際理解教育の推進を目指して……

- ESCは、担任とEST (English Support Teacher) の2人体制での指導により、ESC児童と日本人児童が同じ教室で学習します。事前に担任と授業内容を確認し、要点をおさえて英訳することで、外国籍児童も日本人児童と同時に学びを深めることができます。どちらの児童にとっても多様な文化や価値観にふれる機会となっています。



## 6 留意事項は……

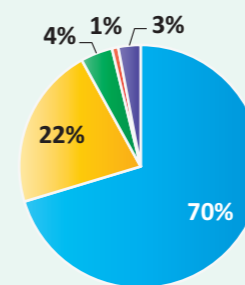
- ESCは、日本人児童が英語を話せるようになることを目的とするものではありません。
- 教育委員会では、児童の適正な就学を確保するため、家庭訪問による本人確認や、賃貸借契約書等の「居住を証明する書類」を確認するなど、居住実態の厳正な確認を行っています。

# 令和2年度 学校評価 保護者アンケート 集計結果

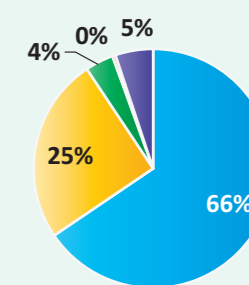
回収率96% (238人/249人)

■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない ■わからない

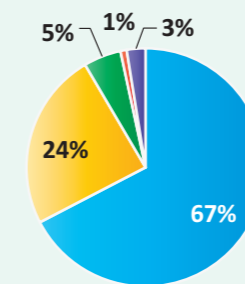
1 学校は、子どもに基礎学力が身に付くよう、「学び合い」や「認め合い」など、子どもが安心して発言、発表できる授業を行っている。



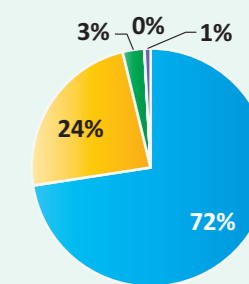
6 学校は、スポーツ選手との交流や音楽コンサートを通して、運動や芸術に親しむ意欲を高めるよう努めている。



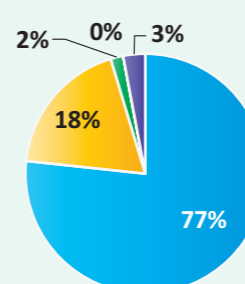
2 学校は、「分かる」「楽しい」授業（学習）を行っている。



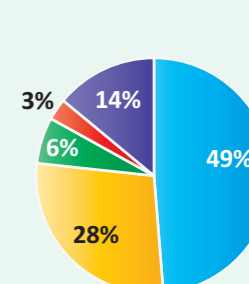
7 学校は、子どもの安全確保や安全対策に様々な配慮を行っている。（避難訓練、防犯訓練、安全指導・点検、セーフティ教室など）



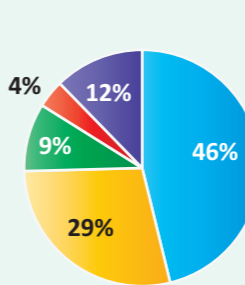
3 学校は、行事（運動会）や道徳の授業、地域の方との交流、あいさつ運動など、互いを認め、互いを大切にす心の教育に力を入れている。



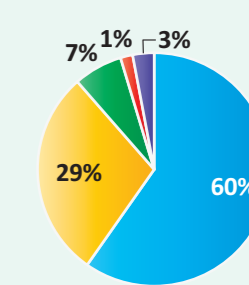
8 学校は、児童一人一人の実態に応じた指導や支援体制の工夫と充実に努めている。（特別支援教育の推進）



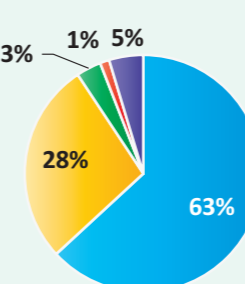
4 学校は、子どもの問題や悩み、トラブルなどを見逃さず、相談に乗ったり、指導をしたりして、いじめや不登校の未然防止に努めている。



9 学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、その内容に適切に対応している。（教育相談体制の確立）



5 学校は、国際科で英語によるコミュニケーションを積極的に図り、楽しい授業を行っている。



10 学校が保護者に出す文書や連絡、ホームページなどは、分かりやすく内容も適切である。

